

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 島根県出雲市
 本事業の担当部局名 総合政策部縁結び定住課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援						
個別事業名	縁結びプロジェクト推進事業(若者のライフデザイン)				新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和8年4月1日	～	令和9年3月31日	事業開始年度	平成25年度		
総事業費(A)(円)	90,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	90,000		
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	90,000						
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	75,000	0	0	15,000	0	0
	対象経費支出予定額	75,000	0	0	15,000	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	0	0	0	0		90,000
	対象経費支出予定額	0	0	0	0		90,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 「出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」の人口ビジョンにおいて、本市がめざす令和12年(2030)の合計特殊出生率を2.1と設定している。「出雲で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる」ことを目指し、結婚支援、妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援に力を入れている。国や県と比べて婚姻率や合計特殊出生率は良いものの、晩婚化・非婚化は進んでおり、その対策として、出会いの場の創出、結婚支援対策に取り組んでいる。</p> <p><本個別事業の位置付け> 出雲市では平成24年度に「新たな出雲の国づくり計画“出雲未来図”」を策定し、定住人口キープ17万人プロジェクトの新たなチャレンジとして、「縁結びプロジェクト(男女の出会いの場創出、結婚支援)」を盛り込んだ(平成25年度から事業実施)。婚活サポートマネジャー1名を常時配置し、女性からの相談対応や婚活イベント等の企画・運営、島根はっぴいこーでいねーたー(※)との連携等、婚活関連事業を通年で行っている。 ※結婚を望む男女を支援するボランティア団体</p>					
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	ライフデザイン講座	結婚や子育て、ワークライフバランスなど将来の様々なライフイベントに対応できる知識や情報を習得する、若者対象のライフデザインセミナー。 ●R8年度実施計画回数:3回 ●参加予定者数(定員)120名 ・専門学校:80名(1回) ・市内高校:40名(男女各10名×2回)				
<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 高校への出前講座が行えていない(受講希望校がない) ・年度当初に市内高校へ受講希望の照会を行っているが手が上がらない。文書での照会だけではなく、高校へ赴いて直接説明し、受講に結びつける。 ・講座の内容など、高校のニーズに沿って柔軟に対応する。							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
		婚活イベントカップル成立率		%	40 (R11年度)
	婚活イベントでカップルになった人数		人	48 (R11年度)	38 (R6年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.52 (R6年)	
	婚姻件数		件	585 (R6年)	
	婚姻率			3.52 (R6年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	ライフデザイン講座の受講者数	人	120(R8年度)	116(R6年度)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	100(R8年度)	99.1(R6年度)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	④	自分の人生設計の参考になったと感じた人の割合	%	99(R8年度)	98(R7年度)
	⑤	結婚・出産に関して、以前より理解が深まったと感じた人の割合	%	100(R8年度)	99(R7年度)
⑥					
⑦					
⑧					